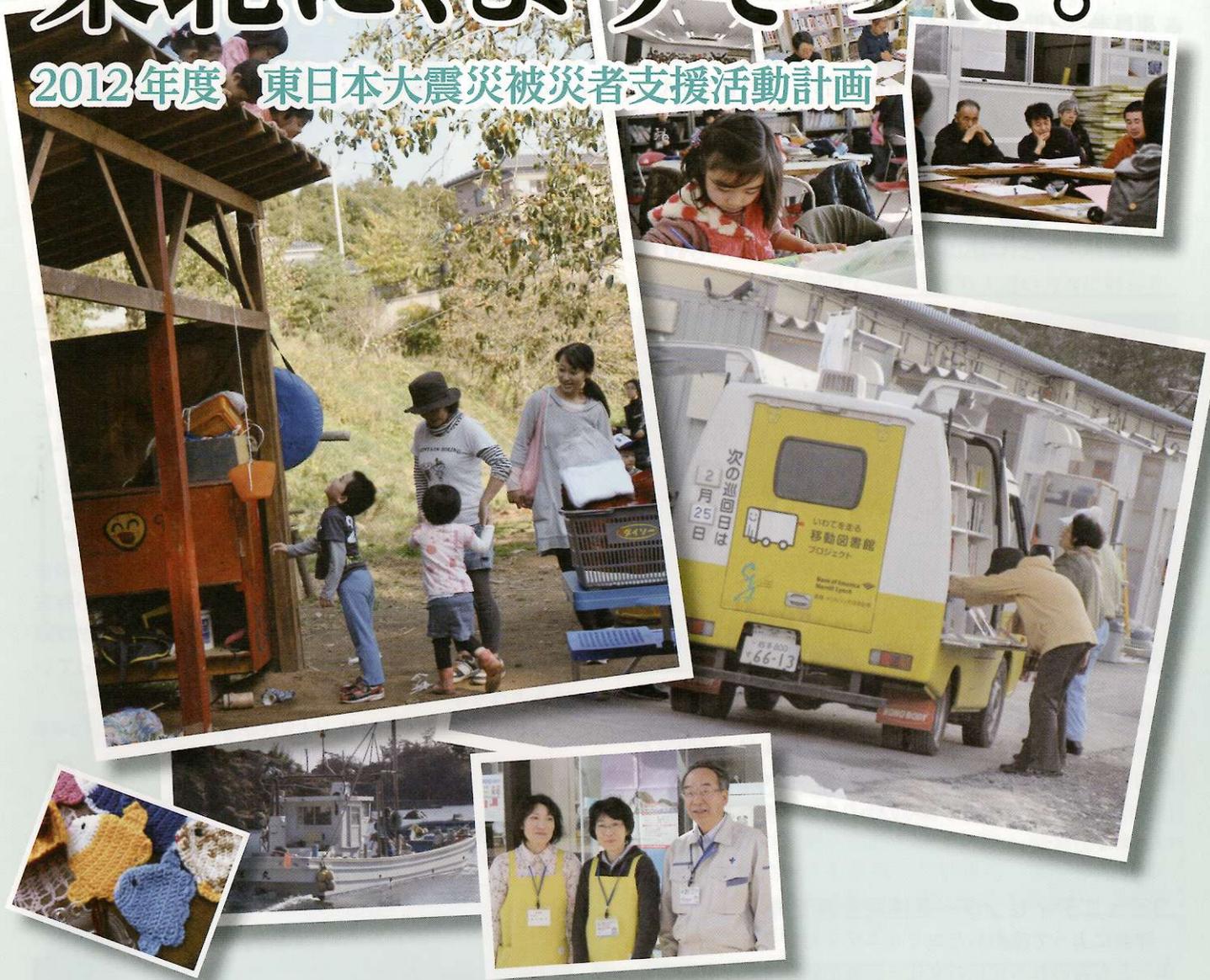


東北に、よりそって。

2012年度 東日本大震災被災者支援活動計画



公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
 私たちは向き合います。苦難の中にいる人々と世界に。

1年の節目を迎え～

私たちは引き続き東日本大震災被災者支援活動を継続して参ります。

昨年5月過ぎまでに取り組んできた生きるための支援～緊急救援期の活動を経て、シャンティ国際ボランティア会(SVA)は現在も地域の方々と歩みをともにしながら、復興に向けた活動を進めています。

人々の暮らしの再建速度は、経済的な理由の他、震災によって失ったものの相異もあいまって、地域の中で少しずつその溝が広がりつつあります。SVAはこのような現実を見据えながらも、地域の人々が心のつながりあいを大事にし、互いに支え合い、そして希望を持って新たな地域社会の再建に踏み出しているよう、その取り組みを継続してまいります。

SVAの取り組みにおける基本方針

- ▶被災された方は援助を待つ対象でなく、自ら復興に関わる主体であることを前提とした自立のための支援を行う(緊急から復興の入口までをサポート)。
- ▶地縁社会を礎にした地域の暮らしの再建支援～相互扶助組織・住民組織の再生支援を進める。
- ▶SVAがこれまで培ってきた図書館活動の経験を活かし、移動図書館プログラムを通じた人々への心のケア活動を展開する。
- ▶行政・民間に関わらず、セクターごとの壁をこえた協働の仕組みを早期に、継続的に構築し、被災者の自立支援に向けた情報共有と政策提言等を行っていく。
- ▶漁業をはじめとする地域レベルの生業の再建・再生支援への関わりを積極的に模索し、サポートしていく。

震災から1年を迎えるこの時、改めて被災地における復興への活動を継続していくこと、皆様に改めてお約束するとともに、引き続きのご支援とご協力をお願いする次第です。

01 つながる人の和 復興プロジェクト気仙沼

東日本大震災からまもなく一年が経とうとしています。4月に気仙沼に事務所を開設して以来、SVAはよりそうごと、地域に根ざすことによって、震災で被災した人々と困難を分かち合い、これまで支えていく活動ができてきたのだと思います。地域の人々と共に復興のあり方を模索してきた一年。いま、ようやくその試みが歩みはじめようとしています。



■「住民と共にまちの未来を考えていく」

地域コミュニティ支援



集団移転支援事業

住む家を失った5世帯が高台へ移転。SVAは、専門家と協力し、住民の声を聴きながら、行政との調整を担う「架け橋」となり、未来のまちのあり方、暮らし方を考えていきます。

コミュニティセンターを住民主導で再建

津波によって流出したコミュニティセンター。利用率日本一とも言われる住民の文化・芸能活動の拠点を住民自らの手で再建するための支援を行います。



■「絵を描くことを通して、感情を自由に表現できる場を」

子ども支援

仙沼市内の小学校で、夏と冬の長期休暇中に学習支援を行ってきました。また、昨年度の冬休みには、絵を描くことによる心のケアのプログラムも実施。2012年4月には、子どもたちが描いた絵をもとに一冊の絵本をカタチにします。

本来あるべき、自由に遊べる場所を

4月26日に開園して以来、「子どもの遊び場」は、いまや子どもたちや地域の人々にとってなくてはならない存在になっています。子どもは、外遊びを通して、自ら学び成長していきます。そうした遊び場を地域の人々が担っているようサポートしていきます。

* (特活) 日本冒険遊び場づくり協会と協力事業

■「仕事は、人間の尊厳」

生業支援

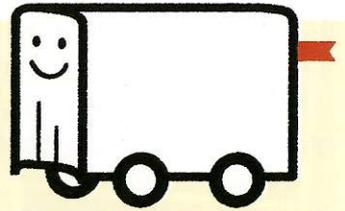


くらしの再建に向けて

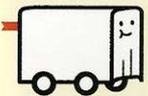
「この震災は、これまでの働き方を見つめ直すいい機会かもしれない。」一艘の船を残して、船はすべて津波に流された。養殖業の再開に向けて、漁師は仲間とともに協業化を決心。2011年9月以降、ワカメ養殖の施設の復旧のために、ボランティアの派遣を行ってきました。今後は、新たな価値づくりと販路づくりを共に行っていきます。

02 | いわてを走る 移動図書館プロジェクト

立ち読み、お茶のみ、おたのしみ

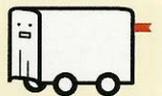


東日本大震災により、陸前高田市、大船渡市、大槌町、山田町の公立図書館は、全部または一部の図書館機能を失うほど大きな被害を受けました。これら4市町に暮らす方たちの本に触れる機会を途切れさせてはならないと、2011年7月中旬より移動図書館活動を開始し、2011年末までにのべ3,000人近い方々に対して本を借りる場、そしてみなが気軽に交流できる場を提供してきました。



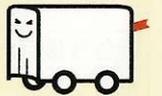
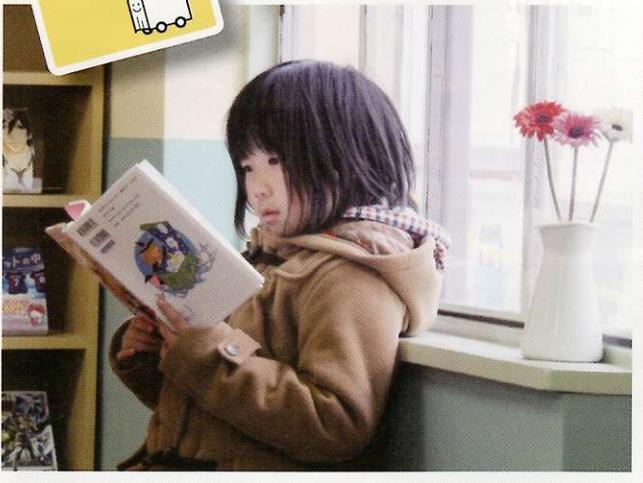
■いわてを走る移動図書館

2011年度は4市町15の仮設団地において定期的に移動図書館活動を行いました。2012年度は、3～4台の移動図書館車を駆使し、これを25カ所に拡充する予定です。



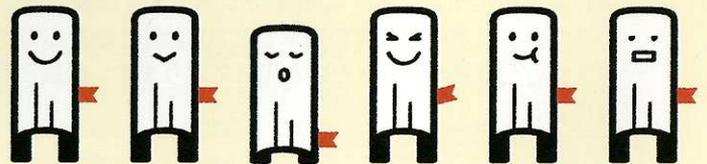
■図書室の設置

また、陸前高田市の小友地区、大槌町の金沢地区に仮設図書室を開設し、地域の方々に図書を通じた憩いの場を提供します。



■いわての置き本

大槌町で開始した文庫活動「いわての置き本」の他市町での展開も目指します。なお蔵書は、地元書店からの購入を重視しています。より多くの本をより多くの方に楽しんでいただけるよう、2012年も沿岸部を走ります。



■「つながる人の和 復興プロジェクト気仙沼」のロゴについて



人と人がつながり、人というピースがパズルのようにつながり、また新たに出会っていくことで共に復興を目指していくイメージです。それぞれの色は、青は気仙沼の海、緑は自然、赤は復興への情熱や人への思いやり、黄色は、希望を表しています。

つながる人の和 検索

HP <http://sva.or.jp/kesenuma/>
facebook <http://www.facebook.com/SVA.Kesenuma>
twitter http://twitter.com/sva_kesenuma

■「いわてを走る移動図書館プロジェクト」のロゴについて



本を読むといろんな顔になります。わくわくしたり、ちょっとびっくりしたり、ほっとしたり、そしてやっぱりにっこり笑顔！いろんな顔に会いたくて、本を積んだ仲間たちが今日も走ります。そんな思いがこもったロゴマークです。でも、このマークたちにはまだ名前がありません。ぴったりの名前をみなさん考えてみてください。

いわてを走る移動図書館 検索

HP <http://sva.or.jp/iwate/>
facebook <http://www.facebook.com/SVA.Mobile.Library.for.Iwate>
twitter http://twitter.com/mobile_library

03 | シャンティ国際ボランティア会 (SVA) とは？

SVA は 1981 年に設立された国内有数の教育協力 NGO です。

現在、東京事務所を中心にタイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ、アフガニスタンに海外事務所を置き、職員 172 人（内日本人 48 人）。2011 年も 9 万冊の絵本（累計 73 万冊）を海外の子どもたちへ届け、16 棟の小学校舎（累計 300 棟）を建設。日本の NGO としては最も数多くの学校の校舎を海外に建設しています。また、阪神・淡路大震災以降、国内外 20 を超える災害救援を行い、東日本大震災では、宮城県気仙沼市と岩手県遠野市に現地事務所を開設して、長期的な支援活動を行っています。

東日本大震災支援募金

決算報告書（2011 年 3 月 11 日～12 月 31 日）

【収益】

項目	金額
東日本大震災支援募金	290,817,392
東日本大震災支援募金（気仙沼事業指定）	9,618,470
東日本大震災支援募金（岩手事業指定）	40,780,816
補助金（ジャパンプラットフォーム）	6,061,976
リサイクルブックエイド（岩手分収益振替分）	247,224
減価償却費計上分の振替分	365,629
収益合計（A）	347,891,507

【費用】

項目	金額	備考
緊急救援活動費	21,357,121	震災直後の緊急救援にかかった事業費
復興支援費（気仙沼事業関係）	23,511,746	気仙沼事務所での事業費、人件費
復興支援費（岩手事業関係）	15,418,979	岩手事務所での活動費、人件費
共通費用	15,463,090	全体にかかる経費
費用合計（B）	75,750,936	

次年度への繰り越し（A）-（B）	272,140,571
------------------	-------------

*なお、上記決算は、損益ベースのため、購入及び寄贈された車両購入費は含まれない。車輛の固定資産の合計は、2011 年 12 月末現在で、21,208,363 円（取得価額：21,573,992 円、減価償却費 365,629 円）。

東日本大震災から 1 年。これまでシャンティ国際ボランティア会（SVA）の活動を通じ、被災地の支援にご協力していただきありがとうございました。2012 年、わたしたちは地域によりそい、地域の方々と共に悩み考えながら、復興のお手伝いを継続していきたいと思っております。今後ともわたしたちの活動を支援していただきますよう、よろしくお願いいたします。

被災地復興のため、募金を受け付けています。

●郵便振替での募金

郵便振替 00170-8-397994
加入者名 SVA 緊急救援募金

●クレジットカードでの募金

<http://sva.or.jp/donate-t/>

※税制優遇について

この募金は税制上の優遇も受けられます。送られてきた募金の領収書を保存しておいてください。他の控除と同様に、確定申告の際に申請することになります。



公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
私たちは向き合います。苦難の中にある人々と世界に。

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
HP <http://www.sva.or.jp/> E-Mail eru@sva.or.jp

